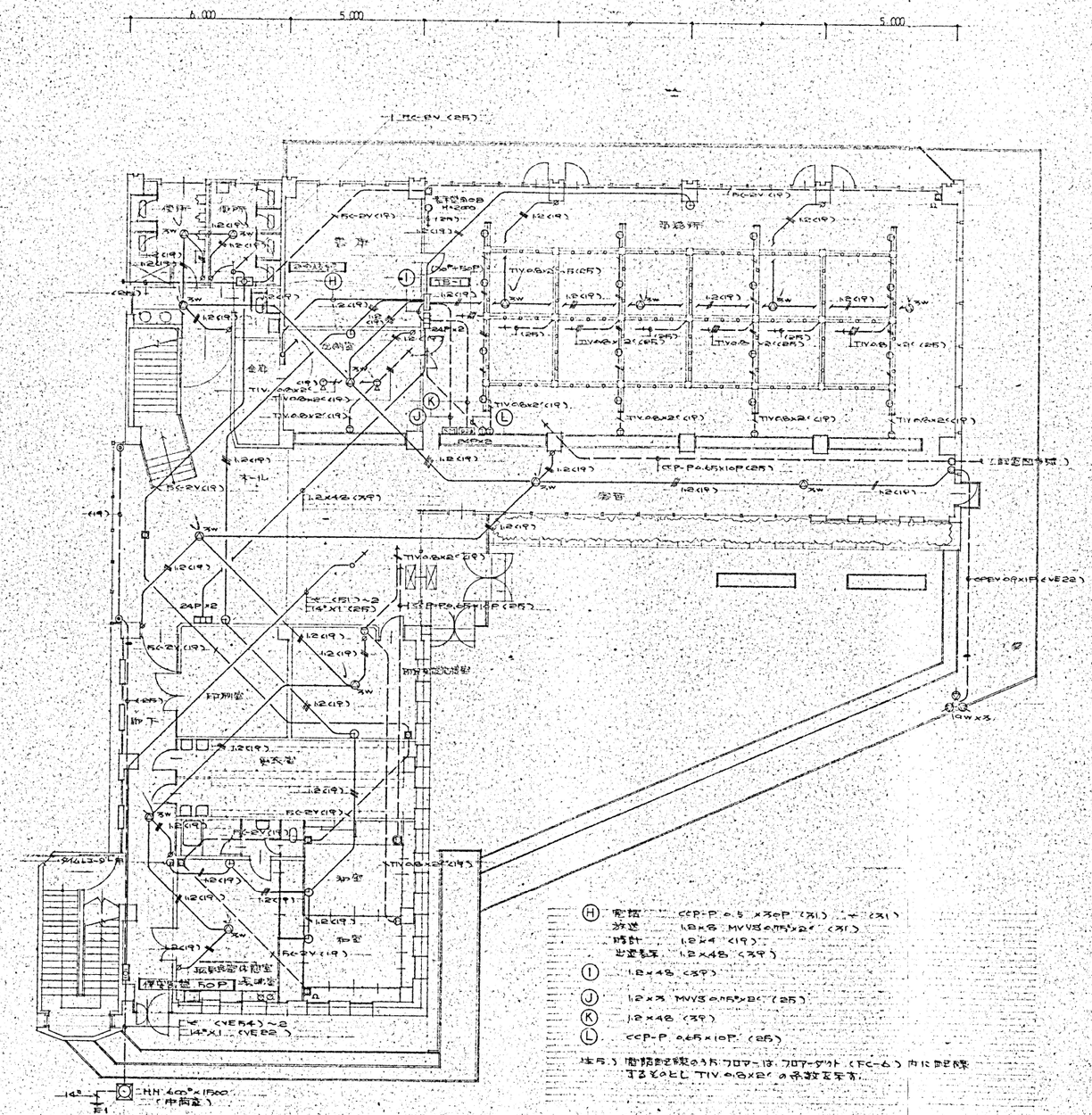
全解体撤去処分



注5.) 電話配線のうち フロアーは フロアーダクト (FC-6) 内に配線するものとし TIV 0.9×2 の本数を示す。

9階 平面図 1:100

3.庶務支援自動電話設備 仕様書

1. 概要

目的 庶務支援業務 クロスバー式自動交換機 無線系と並列接中継台 対話式電話機 音響機器 情報処理部品 移動無線基台 電送機器一式 に伴う構成される下記の連接を行う。

1. 内線相互間通話
2. 内線と屋外市内線間通話
3. 内線と市内専用線間通話

2. 構造概要

庶務支援業務 庶務支援機器に関する無線電話、及び 関係する電気支援設備を満足するものである。

3. 交換方式

クロスバー式自動交換機は 中継台方式とし 接続試験は マーカに依る一段リンク接続、制御方式は 完全共通制御方式とする。

4. 取付回線

内線 一般回線 容量 120L 使用 60L 専用 電話回線 容量 12L 使用 10L

5. 動作条件 (1) 電気的条件 電話電圧 ダイヤル速度 10 PPS の時 直流 48V +6V −6V

ダイヤル速度 20 PPS の時 直流 48V ±5V

絶縁抵抗 イ) 直流抵抗

ダイヤル速度 10 PPS の時

準特甲の B クラス 300Ω以下 (電話機接続抵抗含む)

特甲 準甲 乙の B クラス 600Ω 〃 (〃)

ダイヤル速度 20 PPS の時

全てのクラス 300Ω以下 (〃)

ロ) 並列抵抗

全てのクラス 200KΩ以上 (〃)

ダイヤル条件 ダイヤル速度 10±2 (又は 20±2) インパルス/秒

ダイヤルメーク率 33±3%

(2) トラヒック条件 加入者数 電話呼量 5.4 HCS

(3) 使用機器、交換機械の音響機器 に関 特殊なものを除き 日本電信電話公社のクロスバー交換機用標準部品 又 又は 同等以上のものを 使用するものとし クロスバースイッチは

ハエスタンエレクトリック型、建電器 ロ.ハイスプリングリードリレー等を使用の事。

(4) 構造、寸法 壁面設置型のキャビネット 917φ H=2070 W=1100 D=520 相当品

6. 機能 (1) 基本機能

イ) 内線サービスクラス (回線単位)

内線サービスクラス ＼ 機能区分	市外	市内	屋外専用	内線専用	備考
特甲	○	○	○	○	
甲	×	○	○	○	
準甲	×	×	○	○	
乙	×	×	×	○	

ロ) 市外電信制御 ハカラ自動送出、ハイスピードダイヤル、コールアドバンス、着信表示制御

内線通話中フラッシュ受信、中継台コールアドバンス、夜間クラス切換

(2) 付加機能 夜間録音、インパルス計数リンク (最度制御 市内専用線使用)

7. 容量概要 容量概要は 交換機室内組込とし 下記に伴う

種別	面積 容量	面積 電量	備考
交換機器	120	60	204B×2
交換台	100	60	D-20 W×6

8. 電源装置 48V − 60HA PS-W型 蓄電池 1式

48V − 10A シリコン整流器 1 〃

9. 機器構成 (1) 60回線 クロスバー式自動交換機 1式

(2) 電話機関係 音響付電話機 (卓列) 60台

市内含43台 公衆線 16台 事務 1台

(3) 無線系上型音響中継台 1.座席

(4) 盤夜間転送台 事務室 宿直室 2台

(5) 保守用部品 1式

(6) 予備機器 1 〃

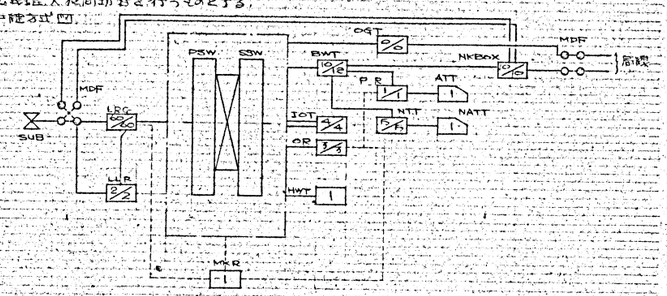
(7) 電源装置 1 〃

10. 据付工事 標準工事

本工事は 日本電信電話公社技術基準並びに 関係法規に準拠すると共に 仕様の指示に従って 完全に施工の事。

11. その他 夜間の場合は 1.〜2回線を 夜間転送に接続し その他の回線は 宿直 1.2台 及び 公衆線 入夜間切替を行うものとする。

12. 中継方式図



熊山町庁舎新築

凡例		変更	年 月 日	DATE	CHECK1	CHECK2	TITLE 熊山支所解体工事		No.
				No.	PL	DR	NAME 電気設備図１２	SCALE 1/100 A2版 71% A3版 50%	K—90